「ドゥシャンベ市第２保健所医療機材整備計画」
引渡式

１０月２１日、「草の根無償資金協力」によりドゥシャンベ市第２保健所に整備された医療機材の引渡式が行われました。引渡式には、古田駐タジキスタン大使、ムロドフ・ドゥシャンベ市保健局副局長及びジキルゾダ保健所所長らが出席しました。

本計画で我が国政府が１５４，０５０米ドルをドゥシャンベ市第２保健所に供与し、日本製のビデオ大腸内視鏡システム一式（ペンタックスメディカル社）が整備されたことにより、より質の高い診断が可能となるとともに、市民の医療サービスへのアクセスも改善されました。

古田大使は引渡式の挨拶で、保健・医療分野は日・タジキスタン二国間協力において特に重要な分野の一つであり、この支援がタジキスタンの持続可能な発展につながり、日本とタジキスタンの友好が強化されることを願っていると述べました。これに対して、ムロドフ副局長からは、日本政府及び日本国民からの支援に対して謝意が表明されました。

タジキスタンでは、１９９６年から今日まで、草の根無償資金協力として合計４７４件、総額約３，９９７万ドルに上るプロジェクトが実施されています。




17
15




EPSON
PENTAX